

肌のお悩み解決に特化した 老舗化粧品メーカー

海外
発注可
オンライン
技術
メイド
イン
ジャパン
量産
対応



石鹸の高速自動製造ライン

業務内容
素肌にやさしい
独自技術の商品が好評

「マックス」では素肌にやさしい固形石鹸、液体洗剤、入浴剤という3つの異なる商品群をバランス良く扱っており、店頭販売、OEM（相手先ブランド生産）、通販による直接販売といった3つのルートで確立。同社は「弱い肌の、強い味方」を企業メッセージとして掲げ、体臭防止、敏感肌対策、代謝改善といったカテゴリーで商品展開している。

このうち、独自の石鹸あわ技術で重い肌トラブルを改善する「素あわボディウォッシュ」が、同社の主力商品となっている。肌に刺激となる成分を配合しない「マックス無添加生活」シリーズの商品群も好評だ。

強み
自社研究所で
新たな商品開発を

体臭防止商品では、柿渋を使ったボディソープなどに注力。また最近では、代謝改善を目的とした入浴剤「汗かきエステ気分」シリーズの販売も伸びている。

これら独自性のある商品を次々と発表する原動力となっているのが、「悩み解決」を目的に研究開発を続ける「マックス化粧品開発研究所」だ。高度研究機器を導入してさまざまな分析を行い、商品開発へ裾野を広げている。研究所では現在、肌対策における4つのカテゴリーとして、弱アルカリ性洗剤の有用性に着目。新たに「スキンケア」商品の開発を進めている。

女性活躍
製造工程の自動・軽量化で
女性の働きやすさ確保

現在、従業員の男女比は男性48%に対し女性52%と女性の方が多く、製造現場でも

約半数が女性パート従業員だ。働きたい意思があるものの育児などでフルタイム勤務が困難な人も積極的に採用しており、希望の勤務時間帯を聞いたうえで適正に配置するなど快適な職場づくりに努めている。

また、材料の投入量や順序をシステム管理しており、誤った作業をすると自動で生産ラインが停止するなど、製造工程の90%以上を自動化・軽量化した。性別や専門知識の有無に関係なく従業員を製造ラインに配置できる体制を整えており、女性が活躍できる職場づくりに一段と力を入れている。

今後の展望
スキンケア製品の深化で
海外展開にも注力

今では100年以上、石鹸製造の技術を磨いてきた同社ならではの「スキンケア」商品を深化させている。弱酸性に比べて「石鹸」弱アルカリ性「の肌への高い浸透性に着目。弱アルカリ性」と、その後の保湿ケアを組み合わせたという新たな発想を形にしている。また、商品の海外展開にも力を入れている。現在では東南アジアを中心に、安全性が求められる無添加商品の引き合いが多いという。今後は主力の奈良工場（奈良県橿原市）を中心に、地元自治体や大学と連携して県産品の天然成分を活用した商品開発を進める予定だ。



戦前からの商品「レモン石鹸」



独自の「石鹸あわ」（特許申請中）

当社の歴史



曾祖父が創業した「小川石鹸製造所」を前身に、現在5代目となります。洗濯石鹸の製造から始まり、大正5年には化粧品石鹸の製造へ。「レモン石鹸」は戦前からの商品です。「ニーズに合った商品を作る」という姿勢を持ち続け、「Made in マックス」を経営ビジョンに、当社だからこそできるお役立ちを目指しています。

代表取締役社長 大野 範子さん

<http://soapmax.co.jp/>

主な事業内容

固形石鹸、液体洗剤、入浴剤などの製造・販売

主な取引先(納入先)

商社、小売業、化粧品メーカー、直販ほか

- 住所 〒581-0084 八尾市 植松町2-9-29
- TEL 072-994-5050
- FAX 072-994-4531
- 創業 明治38年3月
- 設立 昭和22年10月
- 資本金 2,500万円
- 従業員 93名

全国
29